同時資料提供

大阪市政記者クラブ
大阪教育記者クラブ
大阪科学・大学記者クラブ
南大阪記者クラブ
関西レジャー記者クラブ

平成27年4月28日

大 阪 市 立 自 然 史 博 物 館
担当：学芸員　林　昭次(地史研究室)
電話: 06－6697－6222
E-mail: hayashi@mus-nh.city.osaka.jp

高校生が大阪で発見した国内最大級のモササウルス類化石が寄贈されます

概要

このたび、大阪市立自然史博物館では、高校生が学校の地学部の活動で昨年 2014 年秋に、大阪府泉南市に分布する中生代白亜紀末期（約 7000 万年前）の地層から発見した、絶滅した海生爬虫類モササウルス類の顎化石の寄贈を受けることとなりました。

寄贈される化石は、大阪の自然史を明らかにするだけでなく、白亜紀最末期のモササウルス類の生態と多様性を明らかにするためにも、世界的に重要な標本です。高校の部活動で発見されたモササウルス類化石が、博物館に持ち込まれ、今回の新発見につながり、標本が博物館に保管される事は「学校と博物館の連携がもたらした成果」と言えます。

この標本の発見と博物館への標本の寄贈を貴社の記事として扱っていただき、標本の重要性と博物館の役割を広く市民の皆様に、普及して頂けますようお願いします。

発見のポイント

◆ 学校の地学部の活動で村尾光太郎君（兵庫県　灘高校２年生）と三嶋慶彦君（同高校３年生）が発見

◆ 発見した化石はこれまでに見つかっている国内最大級のモササウルス類のものであり、そのことから、大阪のモササウルス類はこれまで考えられてきたよりもさらに巨大であったことが判明した。

- 平成 27 年 5 月 5 日（火）の 13 時に、大阪市立自然史博物館本館ナウマンホールにて、当館館長から寄贈者の高校生に感謝状を贈ります。
- 平成 27 年 5 月 5 日（火）から 5 月 31 日（日）まで、大阪市立自然史博物館 本館ナウマンホールにて、このモササウルス標本を展示します。

※5 月 5 日（火）当日または展示期間中の取材をご希望の方は、添付の取材申込書にてファックスでお申込みください。

モササウルス類とは？

モササウルス類とは、ティラノサウルスなどの恐竜が陸上で闊歩していた、中生代白亜紀後期、約 9800 万年前から 6600 万年前に生息していた、海に進出したトカゲやヘビの仲間です。巨大なものでは１５ｍ以上もの大きさになるものもあります。モササウルスの化石は世界各地で発見されており、世界中の海で繁栄していました。

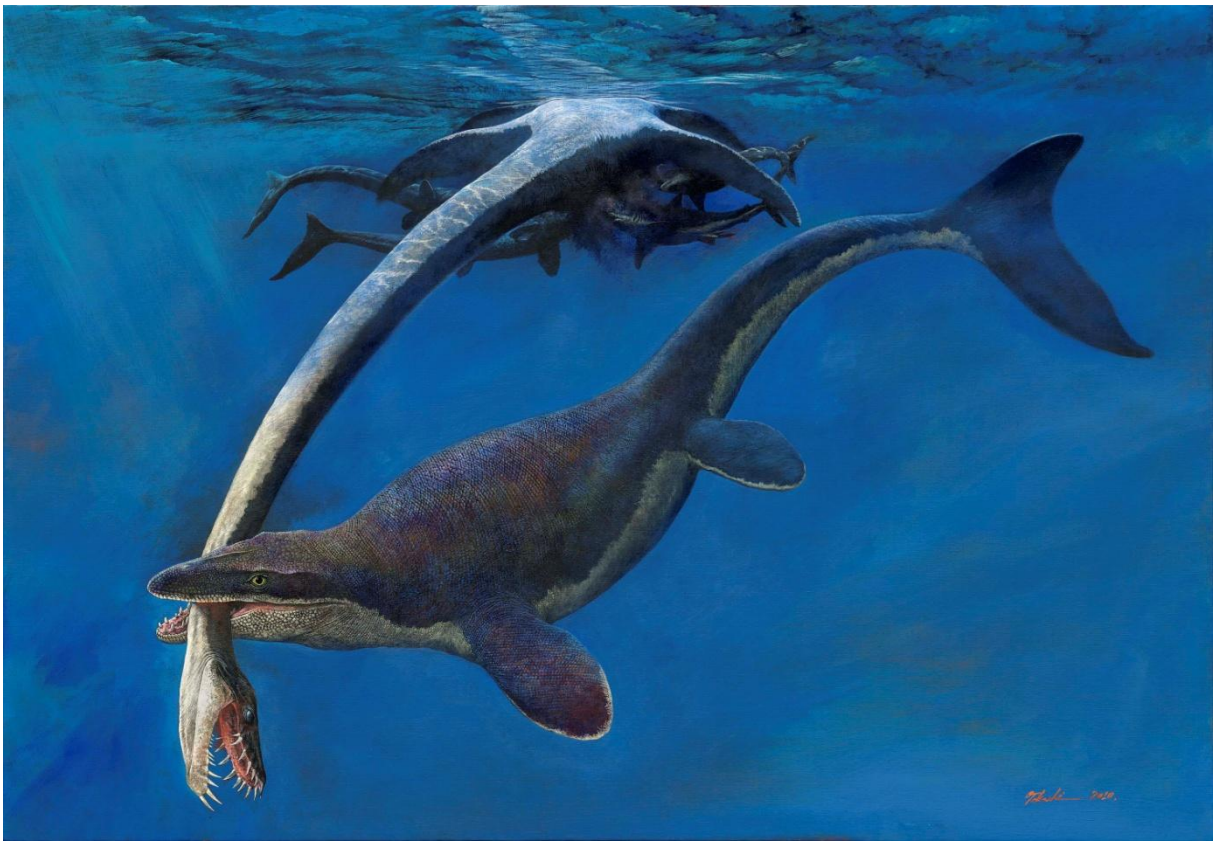


図１：モササウルス類の復元図（画像提供：小田 隆/きしわだ自然資料館）

発見の経緯

昨年秋２０１４年９月２３日に、兵庫県　灘高等学校の地学研究部の部活動で、地学科教諭　野村敏郎氏とともに中学生と高校生らが大阪府泉南市の山中に地質巡検に行った際に、このモササウルス類の化石が発見されました。発見者は村尾光太郎君と三嶋慶彦君で、それぞれ当時高校１年生と２年生でした。発見者の１人である村尾君が、顧問である野村教諭に採集した化石を見せたところ、野村教諭がこの標本の重要性に気づき、大阪市立自然史博物館に、この標本が持ち込まれました。

また、同じ産地からは２０１０年３月に国内最大級のモササウルス類（プログナソドンに近縁）の顎の一部の化石が発見されており、きしわだ自然資料館に保管されています。今回見つかった化石と以前みつかった化石の形状が酷似していることと、産地が同じであることから、きしわだ自然資料館の標本と本標本とを合わせたところ、見事につながりました。これにより本標本ときしわだ自然資料館の標本は同一個体のものであることが判明し、以前国内最大級と報告されていた大阪の巨大モササウルス

類はさらに巨大であったことがわかりました。歯の大きさなどからこれまでの推定全長は約８ｍでしたが、今回の発見で約１０ｍ、頭骨の大きさは確実に１ｍ以上であることが明らかになりました。モササウルス類の専門家である、カナダ　ブランドン大学助教　小西卓哉博士からも「白亜紀末の生物大量絶滅を間近に控えたこの時期、これだけ大きな捕食者を支えるほど日本の海が豊かであったことを示す貴重な発見だ」というコメントが届けられています。

　また、この発見は、２０１５年1月３０日から２月１日に豊橋市自然史博物館で開催された、日本古生物学会の高校生のポスター発表部門でも発表され、奨励賞を受賞しました。

　この標本が、当館に寄贈されたことにより、博物館標本として登録・永久保管され、日本および世界の研究者が研究することが可能になります。

　今回の標本の発見と寄贈は、学校にとって自然史博物館が身近な施設であることから生まれた連携の成果と言えます。今回の標本ばかりではなく、博物館には市民から様々な標本が寄贈されています。貴重な残すべき自然史資料を見出し、保存し、未来へ継承することは、自然史博物館の重要な使命と言えます。

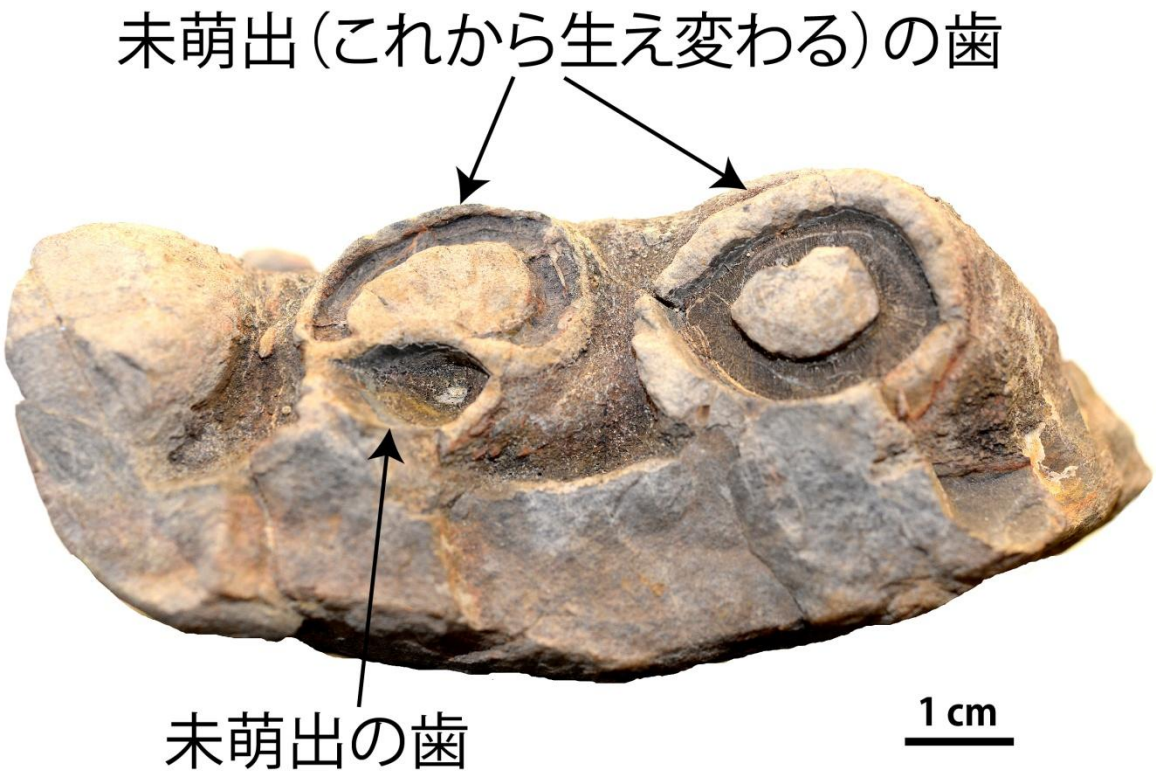


図２：今回発見されたモササウルス類の顎（この面で残りの顎骨と接する）

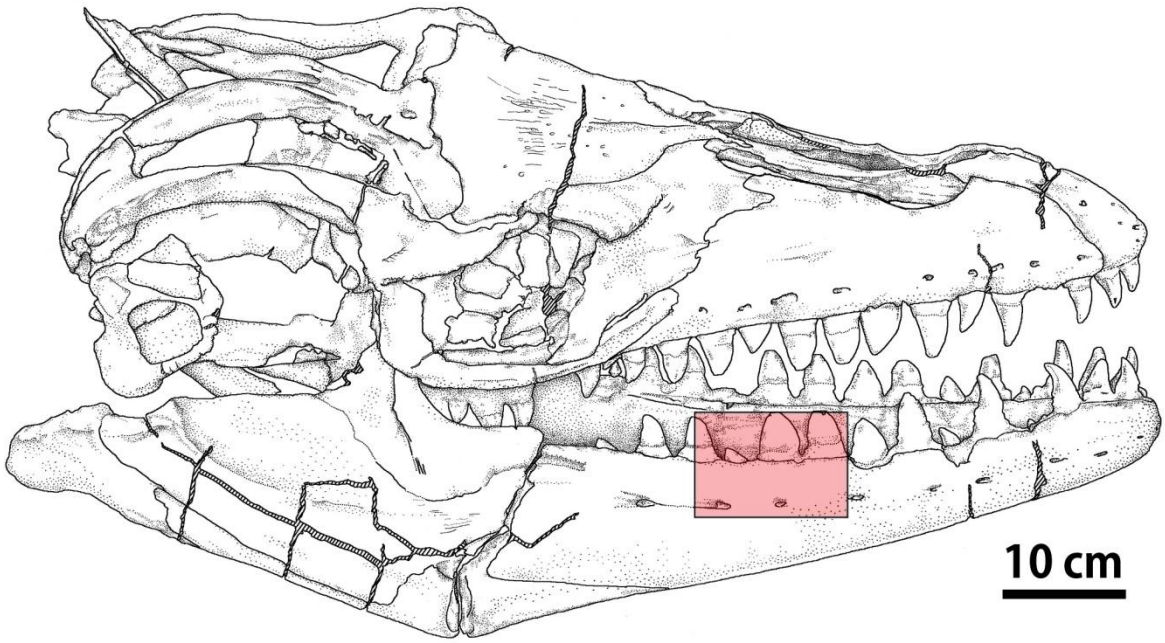


図３：今回発見された部分（赤）
（画像提供：カナダ　ブランドン大学助教　小西卓哉博士）

２．問い合わせ先

○プレス資料の内容・寄贈される化石に関する問い合わせ

林　昭次（はやし　しょうじ）
大阪市立自然史博物館　地史研究室　学芸員
所在地：〒546-0034　大阪市東住吉区長居公園 1-23
Email: hayashi@mus-nh.city.osaka.jp
電話: 06-6697-6222

○灘高等学校・地学研究部の活動に関する問い合わせ

野村　敏郎　（のむら　としろう）
灘高等学校・中学校　地学科教諭
所在地：〒658-0082 兵庫県神戸市 東灘区魚崎北町８丁目 5-1
E-mail: placergoldkobe@yahoo.co.jp
電話：　078-411-7234

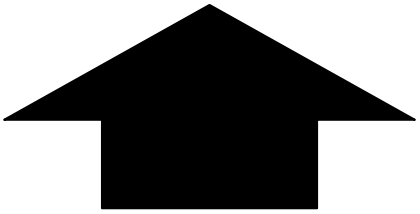
３．大阪市立自然史博物館の連絡先

大阪市立自然史博物館
〒546-0034　大阪市東住吉区長居公園 1-23
TEL 06-6697-6221　FAX 06-6697-6225
地下鉄御堂筋線「長居」駅下車３号出口・東へ 800m
JR 阪和線「長居」駅下車東出口・東へ 1000m
常設展示入館料：大人 300 円、高大生 200 円
中学生以下、障がい者手帳などをお持ちの方、市内在住の 65 歳以上の方（要証明）は無料。
ホームページ　http://www.mus-nh.city.osaka.jp/

好評開催中です！
特別展「スペイン 奇跡の恐竜たち」
2015 年 3 月 21 日（土・祝）～5 月 31 日（日）http://spain-dino.jp/

４．広報用画像が必要な場合の請求先

掲載の画像は広報用としてご利用いただけます。必要な場合は下記連絡先へご依頼ください。
画像データをメールにてお送りします。
大阪市立自然史博物館　総務課　広報担当　山上　香代　k-yamagami@ocmo.jp



ＦＡＸ．０６－６６９７－６２２５

＜ＦＡＸ送信＞

送信先：大阪市立自然史博物館
総務課　広報　宛
TEL.06-6697-6222　FAX.06-6697-6225

「モササウルス類化石寄贈」感謝状贈呈式
取 材 申 請 書

取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、総務課広報宛にＦＡＸにてご返信ください。

〔日時〕平成 27 年 5 月 5 日（火）
13 時 00 分～
〔会場〕大阪市立自然史博物館
本館　ナウマンホール
※博物館通用口からお越しください。

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	ＴＥＬ．　　ＦＡＸ． ｅ－ｍａｉｌ．